

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	田中 久陽		
居室	西8-818		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>(a) 主題：</p> <p>本学の情報処理センターにおいてPCを使用しながらコンピュータの基礎的，実践的使用方法を学ぶ．</p> <p>(b) 達成目標：</p> <p>UNIX Systemの基本的コマンド，エディタなどの使用方の理解，電子メール，</p> <p>文書作成，グラフィックソフトウェア，ネットワークに関するソフトウェア</p> <p>などの使い方の修得．</p> <p>(c) 学習・教育目標との対応</p>
--

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

IT活用能力：80%，継続学習能力：10%，技術者倫理：10%

### 【前もって履修しておくべき科目】

特になし

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

特になし

### 【教科書等】

「UNIX入門演習」（コロナ社）越智裕之著 もしくは

「UNIXコンピュータリテラシー」（共立出版）

渡辺成良，若月光夫，織田健 / 共著

### 【授業内容とその進め方】

パスワードの管理，ログイン/ログアウトの仕方の徹底

Muleを使用して，日本語で自己紹介の文を書き電子メールで送ること

電子メールの返信を受けとること

UNIXのファイルシステムと基本コマンド

エディタ（Mule）によるテキスト編集

電子メールとネットニュース

図や画像の編集

インターネットに関する学習

文章作成ツール (LaTeX)

注意事項：上記の項目について、段階を経て簡単な使用方法から複雑な使用方法まで

順序立てて説明していくので、1回欠席するとそれ以降の演習が困難に

なることがあります。どうしても欠席しなければならない時は連絡して下さい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：演習課題の達成度および出席状況を考慮して成績を評価する。

(b) 評価基準：最低基準は演習課題の達成度と出席状況の各々で

満点の60%の評価点を得ることとする。

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

UNIX Systemは慣れるまで少し我慢が必要です。

慣れる為の努力は後に必ず報われるので頑張ってください。

### 【その他】